みなと校区運営協議会
みなと新聞
発行日　令和二年十月一六日
発行者　みなと校区運営協議会
21号

みなと校区の事業

今年度の行事については、新型コロナウイルスの影響で殆どが中止又は規模縮小となっています。また、7月の豪雨被害により明るい街づくり募金以外の募金活動は行っていません。

報告

五月
新館長会議
グラウンド・ゴルフ大会（中止）
日赤募金（中止）
健康づくり募金（中止）
六月
理事会
明るい町づくり募金
七月
第一回豪雨災害に係る住民説明会
福祉活動計画書作成
港まつり（中止）
暴力追放市民総決起大会（延期）

計画

八月
第二回豪雨災害に係る住民説明会
九月
認知症SOSネットワーク模擬訓練（中止）
校区体育祭（中止）
十月
校区一斉清掃（二五日）
みなとっ子通学合宿（中止）
十一月
グラウンド・ゴルフ大会（中止）
十二月
暴力追放市民総決起大会（二六日）
カチカチ防犯火の用心
一月
新年理事懇親会
二月
研修視察旅行



令和2年度みなと校区運営協議会新役員

役　職	氏　名
《役員》	
会　長	江﨑　君子
副会長	尾崎　優次
副会長	林田　　寿
書　記	片山　繁樹
会　計	出村　　進
《会計監査》	
監　査	柿原幸四郎
監　査	古賀　時雄

役　職	氏　名
《専門部長》	
総務部長	尾崎　優次
福祉部長	荒木　　貢
体育部長	三宅　俊之
保健衛生部長	松本　　等
献血部長	松本　　等
環境部長	松本　　等
募金部長	安藤　勝徳
防犯青少年部長	中村　　浩
婦人部長	大中　充子

どうぞよろしくお願いいたします。

豪雨被害お見舞い申し上げます。

今回の豪雨被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、残念なことにお亡くなりになられたお二人の方のご冥福をお祈りいたします。

この度の災害において、消防、警察、市役所、支援センター、ボランティア等いろんな方々からご援助いただきありがとうございました。特にボランティアの方々は、暑い中の作業、大変だったと思います。厚く御礼申し上げます。

おかげさまで徐々に復旧し、もとの生活をとりもどしつつあります。

数十年に一度の大きな災害というものが毎年のように我々の生活、命を脅かしています。今回の水害や猛烈な台風を通して、人間は自然の前にはいかに無力であるか思い知らされた気がします。こういう時こそ隣近所の絆が重要になってくるのでしょうが、近年の少子化、高齢化ではそれも難しくなってきています。

みなと校区運営協議会は、さまざまな行事を通しての交流があってこそ、いざというときにお互いが協力し合える、そんな活動を今後も進めていきたいと気持ちを新たにしている次第です。

皆様の一日も早い復旧をお祈りいたします。

みなと校区運営協議会　会長　江﨑　君子











豪雨冠水の説明会が行われました

一回目は七月三十日夜、三川地区公民館で行われました。「浸水対策を要請していた」「なぜ水没を想定できなかったのか」など三川ポンプ場への厳しい批判や要望が次々に出されました。

関市長は「天災か人災か」の質問に「何とかできなかったのかとの思いでいっぱい。どうして災害が起きたのか検証する」と述べました。

二回目は、八月七日に文化会館で行われました。約四〇〇人が詰めかけ、午後七時から午前〇時まで続きました。

ここでも「排水を続けておれば被害は少なかった。判断ミスで人災だ」「わずかな支援金では生活できない」など怒りや悲痛な声が上がりました。

編集後記

今回の水害、台風一〇号での避難所の対応は十分だったか。これからは、新型コロナとインフルエンザが同時流行の心配も出てきた。被害をなくす知恵を校区住民で考えましょう。

避難所などへ移動するときに最低限必要なもの（日本気象協会）

水	飲料水、給水袋 ポリタンク	薬・救急用品	常備薬・持病薬、包帯 救急絆創膏、マスク	衣類等	タオル、着替え、スリッパ 雨具（レインコート、長靴）
食料品	レトルト食品、菓子類 栄養補助食品、缶詰	情報確認手段	携帯電話充電器 予備バッテリー ラジオ	筆記具等	筆記具、家族の写真 （はぐれた時の確認用） 緊急時の連絡先（家族、親戚、知人）、避難地図
調理器具	缶切、はさみ、ラップ 多機能ナイフ、 簡易食器類	日用品	使い捨てカイロ ティッシュ、懐中電灯 新聞紙（防寒対策用） ライター（マッチ） 敷物、レジャーシート 軍手（皮手袋）、毛布	貴重品・書類	現金、予備鍵（家、車） 銀行の通帳、印鑑、 運転免許証、年金手帳、 健康保険証、 マイナンバーカード、 生命保険契約番号
清潔品	歯ブラシ、簡易トイレ トイレットペーパー ビニール袋				
避難時品	防災頭巾（ヘルメット） 笛、ブザー、水筒				